



国際ロータリークラブ第2620地区 2023-2024年度
 RI会長 ゴードンR. マッキナリー
 会長 竹田 浩富 幹事 伊原 謙治

朝霧アリーナより



竹田 浩富 会長

例会場 富嶽温泉 花の湯 例会日 毎週金曜日 月の最終週は夜間
 事務所 〒418-0003 静岡県富士宮市ひばりが丘805 富嶽温泉 花の湯内 公式HP <http://fujinomiya-west-rc.com/>
 TEL.0544-23-2122 FAX 0544-23-2122 Mail fujinomiyawestrotary@mountain.ocn.ne.jp

No.26 通算 1557 号 2024年3月1日(金)

ゲストビジターの紹介

♪Rotary Songs 君が代・それでことロータリー

会長挨拶 会長：竹田 浩富 君

ハラスメント防止条例の話

東京都の小池百合子知事は、2/20、「カスタマーハラスメント防止条例」を制定する方針を都議会で表明しました。通称カスハラとは、顧客が従業員に暴言や土下座を強要する迷惑行為など、従業員に心理的な負担を課すことを指します。都内の企業においてこのカスハラの被害が増大し、社会的に深刻化していると言われています。

ハラスメントに関する専門家は、条例整備に加え、顧客ファーストの姿勢に対する意識改革が重要と指摘しています。“お客様は神様”として扱えという思考は色濃く残っていますが、この“お客様は神様”というのは顧客ファーストの接客を心掛けるというサービス精神を表したものであって、理不尽な要求であってもお店側は忍従するべきだということではありません。例えば、コンビニには1日に900名前後のお客さまが来店しますが、ほとんどは普通のお客さまです。“パワハラ顧客”の数自体は数%に限られていますが、もしこのような迷惑なお客への対応を迫られた場合、従業員への心理的なダメージは非常に大きいものになります。私にも、お客さんの理不尽な態度に大きく心が傷ついた経験があります。

サービス産業にとってはお客さんも重要ですが従業員の雇用も同じように重要です。この問題を放置したままだと、従業員の雇用が敬遠され、人手不足を加速させ、事業そのものの存続も困難になる危険があるということです。接客サービスを行う側にとっては、今回の東京都の条例は必然的なものであったと言えます。今後、全都道府県に広がって行ってほしいと思います。

【会報委員会】 委員長：貫名英舜

幹事報告

幹事 伊原 謙治 君

*別紙幹事報告参照

- ・3/30(土)静岡第2グループIMが御殿場RC主催で御殿場高原時之栖で行われます。バスで揃って行く予定です。バスの運行に関する詳細は3/8の例会で発表します。大切なイベントですので、それぞれスケジュール調整の上ご参加下さい。
- ・当クラブの社会奉仕に関して、会員諸氏にアイデア募集をしています。3/15が期限です。幹事までご提出下さい。

出席報告

	会員数	計算会員数	出席	欠席	MU	比率
今週	21	20	16	6	0	80.0%

欠席者：近藤憲司君 宇佐美量三君 仲亀秀樹君 外木規之君※ 近藤千佳君 渡邊奈津実君

本日のお祝い

会員誕生日 遠藤壽男君 s19.3.2
 遠藤克彦君 s28.3.3
 配偶者誕生日 貫名規容子様 3.1
 創業記念日 遠藤壽男君 s26.3.1
 若林眞治君 s42.4.1
 早川英寿君 h27.4.1

スマイル

- 還暦から20年第二の成人 …遠藤壽男君
- 名古屋へ主張します …若林眞治君
- 誕生日祝いに感謝 …遠藤克彦君
- 毎日が猛スピードで …石川俊洋君
- 3/3 カルメン公演に出演 …岡村吉彦君
- 私の職業奉仕について話します…片岡博昌君
- インドの経済成長がすごい…貫名英舜君

委員：後藤憲治 近藤憲司 片岡博昌 早川英寿

本日のイベント “私の職業奉仕”

職業奉仕委員会／遠藤壽男委員長

ロータリーの奉仕の出発点は会員自身の職業奉仕です。自分の職業を通じて地域社会に対してどのように貢献するかを常に考えていることがロータリアンとしてあるべき姿です。しかも、その職業奉仕の実践が地域社会に「よいこと」をもたらすものでなければなりません。この奉仕の精神に関する高く高潔な倫理性を保つために毎週の例会があります。例会において自らの日々の職業に対する取り組みを語り、良き友の評価を受けてさらに高みを目指してより良きロータリアンになって行くことができます。今日は4人(3人)の方それぞれの職業奉仕についての発表を聞きます。

① くすりの値段／加藤康雄君

国は医療に関わる診療報酬の金額について毎年改定を行っています。医科については若干の値上げがなされ、薬価については抑制の方針が示されました。特に、薬価全体を抑えるためにジェネリック薬品のさらなる使用が推奨されています。しかしこれには様々な問題も同時に発生しています。場合によっては当局によって摘発を受けるような違法な操業をしている医薬品製造メーカーもありました。そして、現場としてはジェネリック薬品が本当に信用に当たる薬なのかと疑いを持つことがしばしばあります。

また、市販薬などに製造コストに見合う価格が設定されているかなどの問題も見え隠れしています。資本の論理が医の本来あるべき体制を崩しているケースが多いということです。特にコロナ禍でワクチン接種における発熱などに供えるためにロキソニンやカロナール、PL 剤等が市中で販売される場合、価格が高すぎるという問題もありましたし、病院の現場で品薄になるという事態もありました。

「ヒポクラテスの誓い」。医に関わるあるゆる分野で働いている者の心得であり基本的な倫理です。その治療が病気を抱えて苦しんでいる患者自身の利益になるかどうかこの方向を見失うことなく進むことが医の倫理であるということを常に念頭に置きたいと思うものです。

② エネルギーの昔と今そしてこれから／岡村吉彦君

能登半島地震において、都市インフラが破壊され、水道、電気、ガスなどのライフラインが寸断された結果、自宅に戻っても自立した生活をするのがで

きないために、避難所生活を強いられている方々がまだ多数います。また、ガソリン、灯油、重油の供給が止まってしまうと交通や産業に直接影響がでます。これらのエネルギーをいかに安定的に供給出来るかが私に課せられた社会的責務であると考えます。

かつて西町(旧松山町)にあった岡重は、薪炭販売を生業とした店舗でした。この固形燃料がLPGに代わり、自動車の普及とともにガソリンを販売するガソリンスタンドの営業を増やしていくことになりま。常に、市民生活のエネルギー部門に関与した仕事をしてきましたし、それはこれからも続くことになると思います。

さて、能登半島地震の発生は、やがて必ず来る次の来る大震災への備えの必要性を呼び起こしました。南海トラフ地震は備えが充分でなかった場合、日本に深刻な影響を与えます。社会的責任として、どうこれに対応するかを常に考えて行きたいと思います。

また、環境問題と世界のエネルギー交易の問題から、化石燃料からの脱却を図ろうとする時代の要請にも先回りして備えなければなりません。その一環として水素ステーションを作りました。

③ 材木業とSDGs／片岡博昌君

国連は2015年に「持続可能な開発目標」を採決し、2030年までの期間に17項目169の目標を達成することを世界に訴えました。以来、各企業はそれぞれの分野に依ったSDGsの行動の取り組みを始めています。このSDGsは企業の公共倫理であり、RIもこの倫理にそった行動を推奨しています。

私の仕事に関して言えば15項目に「陸の豊かさを守ろう」に相当していると考えました。「生態系を守り、生物多様性の損失を止めて、新しい森林を増やす」とあり、具体的には森林を継続して経営し、環境保全に努めるなどのコンプライアンスを守っているという条件を満たしている「認証林」を増やし、この森林から出された木材を使うということになります。地元富士山麓でも、この主旨の理解が進み「SGEC/PEEC-COC プロジェクト認証」国際基準に準じた、認証森林が生まれ、面積を拡張しています。当社ではCOCルールに法り、製材・加工・流通に正しく管理して行く方針で進めています。

人は誰でも持続可能な豊かさの中で暮らしたいものです。それはロータリーが考える未来図でもあります。材木業のSDGsとロータリーの奉仕の精神がクロスオーバーしているものと考えます。